




MGU Chapel Letter

—第1号 2021年6月30日—



発行：大学宗教センター



2021年度聖句

「命のある限り

恵みと慈しみはいつもわたしを追う。」 詩編 23編6節

❖ 大学礼拝の案内

【週2回、昼休みの12時10分-30分】

※6月23日から讃美歌を歌っています

7月の礼拝日程（説教者の氏名）

- | | | |
|-----------|-------|---------------------|
| ・7月7日（水） | 松本 周 | （一般教育部 キリスト教学担当） |
| ・7月9日（金） | 末光 眞希 | （学長） |
| ・7月12日（月） | 中家 契介 | （日本キリスト教会仙台黒松教会 牧師） |
| ・7月14日（水） | 嶋田 順好 | （学院長） |
| ・7月21日（水） | 松本 周 | （上の通り） |
| ・7月23日（金） | 栗原 健 | （宗教センター長） |

前期の礼拝は7月23日（水）で終了です。

金曜の礼拝では、音楽科の学生がオルガンを演奏します！ どうぞ応援に！！

❖ 聖書・讃美歌の販売

6月30日（水）～7月2日（金）に、聖書・讃美歌の販売が礼拝堂入口ホールで行われます。去年購入できなかった2年生、今年4月の販売の際に買いそびれた学生は、ぜひ購入して下さい。時間は10時30分から15時まで。

❖ コラム：讃美歌っておもしろい

『讃美歌21』には、教会の礼拝で歌われて来たさまざまな讃美歌が580曲収められています。メロディーの中には、バッハ、ヘンデル、メンデルスゾーンといった大作曲家の作品もあれば、各国の民謡もあります。歴史的に大きな役割を果たした歌も、ここには含まれています。

その1つが、471番「勝利をのぞみ We shall overcome」です。この歌は、1950～60年代にマーティン・ルーサー・キング牧師が率いたアメリカの公民権運動（黒人差別の撤廃を求めた運動）の中で愛唱されました。「勝利をのぞみ 勇んで進もう、大地ふみし

めて。ああ、その日を信じてわれらは進もう。」という歌詞は、神が差別を望まない以上、社会の不正は必ず崩れる筈だ、それを信じて行動して行こうという勇気を与えるものです。さまざまな問題に揺れる現代社会に生きる私たちにも、大いに語りかける力があります。7月23日の大学礼拝では、この歌を皆で歌う予定です。(栗)

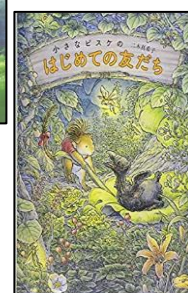
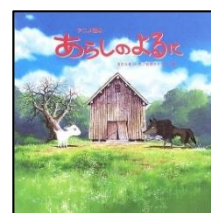
❖ 聖書・キリスト教クイズ ❖

以下の4つのことわざのうち1つは、実は聖書(新約聖書)から来ています。その言葉とは?
(答えはページの一番下)

一石二鳥 自分でまいた種 木を見て森を見ず 良薬は口に苦し

❖ 絵本の展示

礼拝堂入口ホールでは、大学YWCAと共催して4月から絵本の展示「出会いの季節に読みたい絵本！」を行っています。新たな出会い、旧知の人の意外な面との出会いをテーマにした絵本が並んでいます。『あらしのよるに』『おいしいのぼうけん』『くれよんのくろくん』などのなじみぶかい作品のほか、ミッフィーの本やヨシタケシンスケの新作、スタジオジブリのイラストレーターの力作もあります。自由に手に取って読んでみて下さい。7月31日(土)まで。8月から、新しいテーマで展示を行います。



❖ カルトのアプローチに注意しよう

各種のネットニュースに5月30日、「コロナ下で若者の孤独感につけ込むカルトの誘い」という記事が掲載されました。学生サークルを装った宗教団体が、各地でSNSを使って特に新生をターゲットに勧誘活動を行っている、コロナ下で寂しい思いをしている学生たちの気持ちが利用されている、という内容です。夏休みにかけて勧誘が活発になる可能性もあるので、十分に注意して下さい。「おかしいな」と思った時には、学生課か大学宗教センター(礼拝堂、キリスト教センター内)まで連絡を。

クイズの答え

自分がまいた種 : 新約聖書の言葉、ガラテヤの信徒への手紙6章7節「人は、自分のまいたものをまた刈り取ることになるのです」(新約P350)が英語圏のことわざになり、日本に伝わった。

【お問い合わせ】

宮城学院キリスト教センター TEL: 022-279-9558 Email: chirist-c@mgu.ac.jp